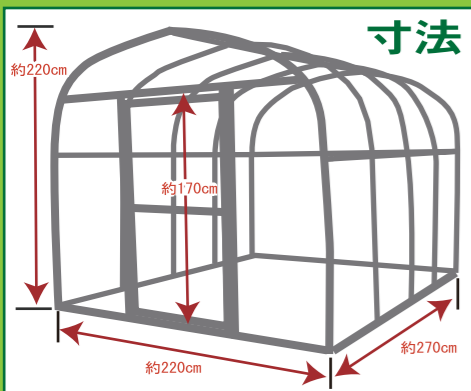


連作障害対策に 移動式家庭菜園ハウス BH-2227

家庭菜園に 間口 約2.2m 奥行き 約2.7m
 ぴったりサイズ 高さ 約2.2m 総重量 約33kg



栽培野菜と季節、それにあわせた土に、ハウスを移動。



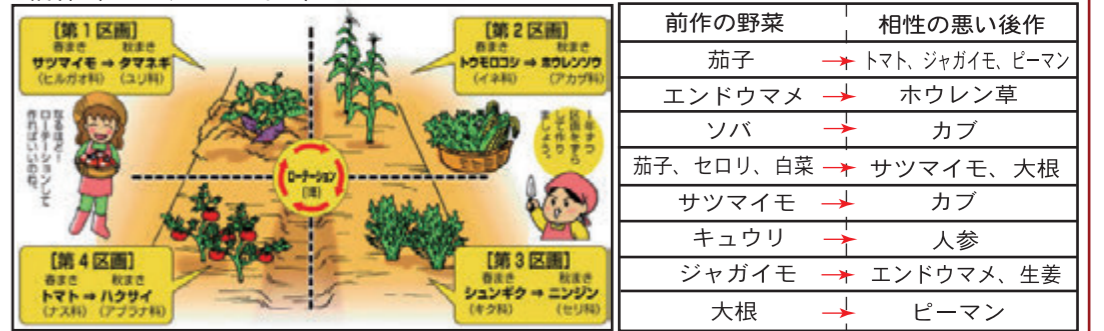
防虫網側幕オプション：初夏から秋口にかけての野菜づくりに



「連作障害」とは? 同じ野菜(同科も)を同じ場所で、作り続けると、生育が極端に悪くなったり、枯れてしまうことです。

- ※連作障害の要因は、大きく分けて3つあります。
- ① 一つの作物を作り続けることで、その作物に必要な成分だけ吸い取られ、どんどん土壌から欠乏していきます。
 - ② 同じ作物を作り続けると、土壌微生物の多様性を失い、生物バランスを崩す。結果、病原菌が増殖し、病原菌によって作物に障害のある病気を引き起こします。
 - ③ 植物に寄生するタイプのセンチュウが、同じ作物を作り続けることで、必要以上に増殖してしまい、作物と共存できなくなってしまいます。

※連作障害を出さないためには、同じ場所に、同じ野菜を栽培しない。
 輪作(ローテーション)



休作年月	種類	休作年月	種類
5年以上休む	エンドウ・ゴボウ・スイカ・茄子	1年以上休む	オクラ・キャベツ・ネギ
3年以上休む	サトイモ・シロウリ・そら豆・唐辛子・トマト・白菜・ピーマン	障害の少ないもの	カブ・春菊・高菜・ホウレン草・ミズナ・ミツバ・レタス
2年以上休む	キュウリ・ササゲ・ジャガイモ	連作できるもの	カボチャ・サツマイモ・大根(3年ほど) 玉葱・人参(4年ほど)

各野菜の栽培スケジュールと、ビニールハウスでの運用例



寒冷地: 北海道, 東北地方, 新潟県, 富山県, 石川県と高冷地
 中間地: 新潟県を除く関東甲信越, 中部, 東海, 近畿, 中国地方, 石川県, 富山県を除く北陸地方
 暖地: 四国, 九州, 沖縄県

ビニールハウスを利用することで、温暖な地域では、周年(真夏以外)の野菜収穫が可能です。寒冷な地域でも、夏野菜は多く栽培されています。

野菜の種類	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	連作障害	
トマト	寒冷地 中間地 暖地													最近では、秋用苗がある。	青枯れ病 萎凋病
キュウリ	寒冷地 中間地 暖地														つる割れ病 線虫類
ナス	寒冷地 中間地 暖地													最近では、秋用苗がある。	青枯れ病 半身萎凋病
ピーマン	寒冷地 中間地 暖地													最近では、秋用苗がある。	立枯れ病 根こぶ病
カボチャ	寒冷地 中間地 暖地													南九州では、春種を、秋まきに使い実を成らしている	立枯れ病 根こぶ病
スイカ	寒冷地 中間地 暖地													一般的には、接木苗が主流。環境に対応し易いです。	つる割れ病 線虫類
メロン	寒冷地 中間地 暖地														つる割れ病 線虫類

野菜の種類	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	連作障害
イチゴ	寒冷地 中間地 暖地													悪く付きが 実の付きが
エンドウマメ	寒冷地 中間地 暖地													立枯れ病
ホウレン草	寒冷地 中間地 暖地													立枯れ病
ニンジン	寒冷地 中間地 暖地													
レタス	寒冷地 中間地 暖地													軟腐病 灰色かび病
コマツナ	寒冷地 中間地 暖地													根こぶ病
ミズナ	寒冷地 中間地 暖地													根こぶ病

※ 上記、地域と作例は、露地栽培の目安です。(接木苗、実生苗で異なります。)ビニールハウスは暖房器具の利用で目安が変わります。地域の標高、地形、その年の気候条件によって変化、ずれがありますのでご了承ください。